

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 高山市立岩滝小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 506 - 0814

E-mail iwataki@edu.city.takayama.gifu.jp

Website http://www.city.takayama.gifu.jp/ga/iwataki-e

幼児児童生徒数 男子 7 名 女子 7 名 合計 14 名

幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当校は、「やさしく かしく たくましく」を教育目標として、ESDを郷土教育と捉え、ESDの実践を通して郷土を知り、郷土を愛し、進んで郷土に貢献しようとする児童の育成を目標とした。

具体的には、総合的な学習の時間、学校行事を柱に、①自然・環境プロジェクト、②歴史・伝統・文化プロジェクト、③産業・観光プロジェクト、④人プロジェクトの活動を行った。

① 自然・環境プロジェクト

ディスカバー岩滝をテーマとした全校遠足を実施し、郷土の自然を守ることの大切さを学んだ。この地域に特有のクマガイソウの保護について地域の方にお話を聞いて、地域の自然を守る苦勞を知ることができた。また、行者ニンニクを栽培している地域の方に、栽培の苦勞と喜びについて語っていただいた。ヤマユリの群生地では、他地域の人に無断で採取されないように看板を立てて保護していることも知った。子どもたちにとって身近な地域での自然保護活動について多くを知ることができた。

② 歴史・伝統・文化プロジェクト

ディスカバー岩滝をテーマとした全校遠足を実施し、郷土の歴史を学んだ。今年度は岩井地区方面に行き、岩井公民館近くの寺東遺跡を見学した。約3000年前の縄文時代に岩滝に人々が住んでいたことを知ることができた。また、岩井神社では、地域の祭りに子どもたちも参加していることで、より身近な地域の文化、伝統を感じるよい機会となった。高学年は遠足前に、郷土の神社と祭りについて、地域の方に取材したり、文献で調べたりして、理解を深めることができた。

③ 産業・観光プロジェクト

山あいの斜面を活用した棚田での米作りを通して、米作りの苦労や食生活の主食を担う米の素晴らしさを学んだ。地域の方を講師に招き、田植え、稲刈り、脱穀を全校で行った。11月には収穫したもち米を使った「花餅づくり」を行い、地域の伝統であり、冬場の貴重な収入源としての役割を担っている花餅づくりについて学ぶことができた。

岩滝地区の主要産業である農業（ホウレンソウ、養鶏）について、地域性を生かした栽培方法や生産技術について、地域の生産者の方々から直接話を聞くことができた。

④ 人プロジェクト

棚田を守っていかこうとする人や、花餅を作り続ける人、地域の零細を伝承している人、地域の農業を引き継ぎ、発展させようとしている人など、地域の文化や伝統を守る人々の願いや思いを聞き、自分たちの生き方を結び付けて考えることができた。



① 行者ニンニクの栽培見学



② 寺東遺跡についての説明



③ 地域、保護者と花餅づくり



④ お世話になった方々に感謝状

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「ぎふの棚田 21 選」岐阜県農政部農村振興課（リーフレット） クマガイソウ (http://www.yasashi.info/ku_00020.htm) ぎふの棚田 (http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo) 「岩滝の民族」岩滝社教運営委員会編 2000
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- 1、2年生は生活科の時間を活用し、年間１４時間の計画で行う。
3、4年生は総合的な学習の時間を活用し、年間４０時間の計画で行う。
5、6年生は総合的な学習の時間を活用し、年間５３時間の計画で行う。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校は１年生が単学級、３・４年生、５・６年生は複式学級である小規模学校である。そのために、ほとんどの行事は全校で実施しており、全職員が共通の指導目的のもと、全校で活動に取り組めるようになっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

子どもたちは岩滝地域が大好きで、全員が郷土に誇りをもっている。地域からの評価では、子どもたちが積極的に地域のことを知り、学んだことを地域に発信していることに対して大変高い評価をいただいている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

活動してきたことを 11 月のわくわく発表会で保護者、地域の方々に発信できた。へき地小規模校であるため、近隣の学校との交流は少ないが、年間に 2 回の交流会を持ち、岩滝の良さを知ってもらうことができている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）（２００字程度）
※チェック事項 2-3 に対応

岩滝まちづくり協議会や岩滝長寿会、連合町内会との交流が主である。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

ほとんど行っていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

へき地小規模校である利点を最大限に生かすことができている。子どもたちは地域を愛し、地域に誇りをもって卒業できている。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度と同様の活動を計画している。

- ① 自然・環境プロジェクト
- ② 歴史・伝統・文化プロジェクト
- ③ 産業・観光プロジェクト
- ④ 人プロジェクト

来年度は 1 年生が 3 名入学し、全校 15 名となるが、今年度と同様にどの活動も全校体制で行っていききたい。